

# 救急・災害医学

## Health Crisis Management Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
講師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助手	井川 晃彦	Akihiko Igawa
助手	旭 雄士	Takashi Asahi
助手(前)	平野 克治	Katsuharu Hirano
助手(前)	安田 剛敏	Taketoshi Yasuda

### 著書

- 1) Wakasugi M, Okudera H, Ohta T, Asahi T, Igawa A, Tange D: Development of the New Coma Scale: Emergency Coma Scale(ECS). in Kanno T, Kato Y(eds): Minimally Invasive Neurosurgery and Multidisciplinary Neurotraumatology. 400-403, Springer-Verlag Tokyo, 2006.
- 2) 奥寺 敬,竹内典之(監): *みんなの森-安全編*. 社団法人国土緑化推進機構,2005,東京.
- 3) 奥寺 敬: 救急医療-手技頭蓋内圧降下療法. 今日の治療方針 2005 年版,101-102,医学書院,東京,2005.
- 4) 奥寺 敬: 救急医療情報システムとメディカルコントロール. 脳神経外科学系 5,脳神経外科救急,19-25,中山書店,東京,2005.
- 5) 奥寺 敬: めまい. 日本救急医学会(監),救急研修標準テキスト,191-193,医学書院,東京,2005.

### 原著

- 1) Igarashi N., Nozawa T., Fujii N., Kato B., Nonomura M., Matsuki A., Nakadate T., Igawa A., Asanoi H., Inoue M., and Inoue H. :Evaluation of fatty acid metabolism in hearts after ischemia-reperfusion injury using a dual-isotope autoradiographic approach and tissue assay for metabolites of tracer. J Nucl Med 46:160-164, 2005.
- 2) Nonomura M., Nozawa T., Matsuki A., Nakadate T., Igarashi N., Kato B., Fujii N., Igawa A., Asanoi H., Kondo T., and Inoue H. :Ischemia-induced norepinephrine release, but not norepinephrine-derived free radicals, contributes to myocardial ischemia-reperfusion injury. Circ J 69:590-595, 2005.
- 3) Nozawa T., Taguchi M., Tahara K., Hashimoto Y., Igarashi N., Nonomura M., Kato B., Igawa A., and Inoue H. :Influence of CYP2D6 genotype on metoprolol plasma concentration and  $\beta$ -adrenergic inhibition during long-term treatment. A comparison with bisoprolol. J Cardiovasc Pharmacol 46:713-720, 2005.
- 4) Taguchi M., Nozawa T., Igawa A., Inoue H., Takesono C., Tahara K., and Hashimoto Y. :Pharmacokinetic variability of routinely administered bisoprolol in middle-aged and elderly Japanese patients. Biol. Pharm. Bull. 28:876-881. 2005.
- 5) 石坂真二,高林大輔,奥寺 敬: 救急医療からみた高気圧酸素治療施設のネットワーク化に向けての提言-一酸化炭素中毒の受け入れ経験より-. 地域救急災害医療研究,3:13-14,2005.
- 6) 小山淳一,高砂浩史,岩下具美,瀬口達也,川岸久太郎,奥寺 敬,本郷一博: 救急時の気道確保を支援する装置の開発エアーウェイスコープ/プロトタイプ1(解説). 日本臨床救急医学会雑誌,8:341-342,2005.
- 7) 奥寺 敬: 長野五輪における救急医療体制-2005年岡山国体に備えて. 日本病院会雑誌,52:1342-1353,2005.
- 8) 奥寺 敬: 松本広域ドクターカー20周年の運用統計. 地域救急災害医療研究,3:19-22,2005.
- 9) 奥寺 敬: 脳腫瘍の治療-外科療法-ロボット手術. 日本臨床,63: 358-362,2005.
- 10) 丹下大祐,井川晃彦,若杉雅浩,奥寺 敬: ICLS 指導者養成ワークショップ(富山)の開催. 地域救急災害医療研究 3(1),15-18,2005.
- 11) 堤 晴彦,奥寺 敬,堀 進悟,奥地一夫,杉田 学,横山正巳,秋山利浩: 意識障害に対するプレホスピタル・ケアの標準化-PCEC(Prehospital Coma Evaluation & Care)を目指して-. 日本臨床救急医学雑誌,8:99-100,2005.
- 12) 若杉雅浩,丹下大祐,奥寺 敬: 頭蓋内圧と脳灌流圧の管理. 臨床医,31:604-606,2005.

### 症例報告

- 1) 織田 聡,若杉雅浩,井川晃彦,奥寺 敬: 急性硫化水素中毒の1例. 中毒研究,18:211-212,2005.
- 2) 鈴木賀代,金森昌彦,信清正典,安田剛敏,野上重治: 脊柱管内に進展し反対側の臀部痛を生じた腰部粘液腫の1

例.日本脊髄障害医学会雑誌, 18: 130-131, 2005.

- 3) 安田剛敏、金森昌彦、野上重治、鈴木賀代: 椎間板ヘルニアと同一高位に合併した馬尾腫瘍の1例. 日本脊髄障害医学会雑誌, 18: 56-57, 2005.

## 総説

- 1) 奥寺 敬: 災害時に求められる救急医療. 富山市医師会報, 409:14-16, 2005.
- 2) 奥寺 敬: 災害医療と公衆衛生. 北陸と公衆衛生, 51:14-15, 2005.

## 学会報告

- 1) Fujii N., Nozawa T., Igawa A., Katoh B., Igarashi N., Nonomura T., Nakadate T., Matsuki A., Asanoi H., Inoue M., and Inoue H. :Improvement of insulin signaling induced by enalapril contributes to the inhibition of developing hypertensive heart failure of Dahl rats.
- 2) Nozawa T., Taguchi M., Hashimoto Y., Nonomura M., Igarashi N., Igawa A., Matsuki A., Nakadate T., Asanoi H., and Inoue H. :The genotype of CYP2D6 determines cardiac responsiveness to  $\beta$ -adrenergic stimulation in patients treated with metoprolol, but not with bisoprolol. 第69回日本循環器学会総会, 2005, 3, 横浜.
- 3) Nakadate T., Nozawa T., Matsuki A., Nonomura M., Igarashi N., Katoh B., Fujii N., Igawa A., Asanoi H., Inoue M., and Inoue H. :Reduced cardiac norepinephrine release during ischemia is not necessarily accompanied by attenuation of sympathetic neuronal dysfunction in the remote period. 第69回日本循環器学会総会, 2005, 3, 横浜.
- 4) Nonomura M., Nozawa T., Matsuki A., Nakadate T., Igarashi N., Kato B., Fujii N., Igawa A., Asanoi H., Kondo T., and Inoue H. :Beneficial effects of cardiac denervation on ischemia-reperfusion injury result from decreasing direct norepinephrine toxicity, but not from decreasing norepinephrine-derived free radical formation. American College of Cardiology Annual Scientific Session 2005, March, Orlando.
- 5) Nakadate T., Nozawa T., Matsuki A., Nonomura M., Igarashi N., Kato B., Fujii N., Igawa A., Asanoi H., and Inoue H. :Brief ischemia before sustained ischemia attenuates the deterioration of cardiac sympathetic neuronal function in the remote period after the ischemic insult. American College of Cardiology Annual Scientific Session 2005, March, Orlando.
- 6) Okudera H: Sarin attack in Matsumoto City- summing-up of acute phase and chronic phase. GHSAG: Global Health Security Action Group: Chemical Events WG Tokyo Meeting. 10/4-5, National Institute of Infectious Disease, Tokyo, Japan
- 7) Wakasugi M, Okudera H, Ohta T: Prehospital Coma Grading System for Head Injury: Emergency Coma Scale. 3rd World Congress for the Academia of Multidisciplinary Neurotraumatology, 2005.3, Nagoya, Japan.
- 8) 青木雅人, 大竹由真, 金森昌彦, 安田剛敏: 後方要素を温存した腰椎椎弓切除術の治療成績. 第16回飛騨整形外科懇話会, 2005, 1, 高山.
- 9) 青木雅人, 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 大竹由真: 後方要素を温存した腰椎椎弓切除術の治療成績. 第104回中部日本整形外科災害外科学会, 2005, 4, 大阪.
- 10) 旭 雄士, 平島 豊, 竹内幹伸, 壺井祥史, 西尾陽一, 柴田 孝, 池田宏明, 遠藤俊郎: 両側淡蒼球凝固術後に両側視床下核刺激術を施行し, 症状の改善をみたパーキンソン病の1症例. 日本定位・機能神経外科学会, 2005, 1, 大阪.
- 11) 堀 岳史, 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 木村友厚: 腰椎椎間関節嚢腫の1例. 第171回北陸整形外科集談会, 2005, 4, 金沢.
- 12) 井川晃彦, 丹下大祐, 若杉雅浩, 奥寺 敬, 小倉憲一, 津山 博: ICLS コース運営とコースの質の維持の取り組み. 第33回日本救急医学会総会・学術集会, 2005, 10, 大宮.
- 13) 上條幸弘, 矢澤和虎, 酒井龍一, 大和眞史, 今井智彦, 藤森省吾, 奥寺 敬: 諏訪大社下社御柱祭における救護体制の構築. 第10回日本集団災害医学会総会, 2005, 3, 吹田市.
- 14) 上條幸弘, 矢澤和虎, 酒井龍一, 大和眞史, 今井智彦, 奥寺 敬: 諏訪大社下社御柱祭における救護状況. 第33回日本急医学会総会・学術集会, 2005, 10, 大宮.
- 15) 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 川口善治, 木村友厚: 坐骨神経痛様症状を呈する疾患について(脊椎疾患を除く) 坐骨神経痛様症状を呈した脊椎疾患以外の腫瘍性疾患の検討. 第104回中部日本整形外科災害外科学会, 2005, 4, 大阪.
- 16) 川口善治, 金森昌彦, 石原裕和, 安田剛敏, 木村友厚: 脊椎固定術の隣接椎への影響と再手術 腰部脊柱管拡大術後の隣接椎間障害と再手術. 第104回中部日本整形外科災害外科学会, 2005, 4, 大阪.
- 17) 小山淳一, 高砂浩史, 川岸久太郎, 岩下具美, 瀬口達也, 奥寺 敬, 本郷一博: エアウェイスコープ(AWS)の開発. 第33回日本救急医学会総会・学術集会, 2005, 10, 大宮.

- 18) 小山淳一,高砂浩史,岩下具美,瀬口達也,川岸久太郎,奥寺 敬,本郷一博:エアウェイスコープ(AWS)の開発.第 24 回日本蘇生学会・大会,2005,11,宝塚.
- 19) 松木 晃,井川晃彦,能澤 孝,五十嵐典士,野々村誠,中館照雄,井上 博:心筋虚血再灌流障害におよぼすフルバスタチンの抗酸化作用についての検討.第 53 回日本心臓病学会総会,2005,9,大阪.
- 20) 松木 晃,能澤 孝,五十嵐典士,中館照雄,山寄継敬,城宝秀司,井川晃彦,平井忠和,亀山智樹,井上 博:冠動脈疾患患者におけるフルバスタチンの効果.コレステリドとの比較,第 53 回日本心臓病学会総会,2005,9,大阪.
- 21) 野田英一郎(日本救急医学会),田中行夫,早川峰司,小池 薫,菊池 研,池上敬一,北原 浩,木村昭夫,境田康二,坂本哲也,奥寺 敬,杉浦立尚,真弓俊彦,石見 拓,小林正直,中谷壽男,谷川攻一,林峰 栄,山畑佳篤,有賀 徹,平出 敦,日本救急医学会 ACLS コース企画運営委員会:ICLS コース普及と現状.第 33 回日本救急医学会総会・学術集会,2005,10,大宮.
- 22) 野上重治,金森昌彦,安田剛敏,堀 岳史,木村友厚:脊椎近傍に発生した Non-Hodgkin リンパ腫の治療経験.第 104 回中部日本整形外科災害外科学会,2005,4,大阪.
- 23) 織田 聡,井川晃彦,若杉雅浩,奥寺 敬:急性硫化水素中毒の一例.第 19 回日本中毒学会東日本地方会,2005,2,東京.
- 24) 奥寺 敬:松本サリン事件の教訓.松本・東京地下鉄両サリン事件 10 年総括シンポジウム,2005,3,東京.
- 25) 奥寺 敬:メディカルコントロールと急性期医療の展望(特別講演).第 8 回石川県救命医療研究会,2005,3,金沢市.
- 26) 奥寺 敬:救急医療システムにおける高齢患者の動向(教育講演).第 18 回日本老年脳神経外科学会,2005,4,富山.
- 27) 奥寺 敬,馬場美智子:新潟県中越地震における医療機関の被害と医療機関の対応-救護活動の全体像と今後の課題.「医療機関の防護」第二回シンポジウム,2005,4,神戸.
- 28) 奥寺 敬:意識障害に対するプレホスピタル・ケアの標準化-ACLS との整合性について.第 8 回日本臨床救急医学会総会,2005,4,東京.
- 29) 奥寺 敬:AHA ガイドライン 2000 における急性脳卒中の初期診療について(教育講演).第 1 回脳卒中初期治療研究会,2005,7,秋田市.
- 30) 奥寺 敬:脳卒中初期診療の標準化.第 15 回軽井沢脳神経カンファランス,2005,9,軽井沢町.
- 31) 渋谷伸子,杉木 実,奥寺 敬,釈永清志,山崎光章:CHDF の抗凝固薬としてのアルガトロバン併用の経験.第 32 回日本集中治療医学会学術集会,2005,2,東京.
- 32) 杉木 実,渋谷伸子,奥寺 敬,山崎光章:大動脈ステント内挿術により救命できた輸血拒否患者の 1 例.第 32 回日本集中治療医学会学術集会,2005,2,東京.
- 33) 鈴木賀代,金森昌彦,安田剛敏,野上重治:四肢に生じた筋層間脂肪腫(intermuscular lipoma)の 2 例.第 104 回中部日本整形外科災害外科学会,2005,4,大阪.
- 34) 浦山茂樹,中澤不二雄,今西理恵子,安田剛敏:骨粗鬆症性脊椎骨折の治療 骨粗鬆症性脊椎破裂骨折に対する保存治療.第 104 回中部日本整形外科災害外科学会,2005,4,大阪.
- 35) 浦山茂樹,中澤不二雄,今西理恵子,安田剛敏:骨粗鬆症性脊椎骨折の治療 骨粗鬆症性脊椎破裂骨折に対する保存治療.第 104 回中部日本整形外科災害外科学会,2005,4,大阪.
- 36) 若杉雅浩,奥寺 敬:小児救急管理のノウハウ-小児外傷患者の初期治療.第 10 回日本脳神経外科救急学会,2005,2,名古屋.
- 37) 若杉雅浩,奥寺 敬,井川晃彦,小倉真治,内藤万砂文,広瀬保夫,和籐幸弘:平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨災害の調査報告(ワークショップ).第 10 回日本集団災害医学会総会,2005,3,吹田市.
- 38) 若杉雅浩,小倉憲一,井川晃彦,奥寺 敬:救急救命士の気管挿管の質の保障としての救急隊を対象とした OSCE の導入.第 8 回日本臨床救急医学会総会,2005,4,東京.
- 39) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺 敬:救急医療システムと臓器移植-レシピエント搬送の問題点-.第 18 回日本脳死・脳蘇生学会,2005,6,名古屋.
- 40) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺 敬:医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第 33 回日本救急医学会総会・学術集会,2005,10,大宮.
- 41) 若杉雅浩:医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第 33 回日本救急医学会総会,一般,2005,10,大宮.
- 42) 若杉雅浩,奥寺敬:小児救急管理のノウハウ-小児外傷患者の初期治療.第 10 回日本脳神経外科救急学会,2005.1,名古屋.
- 43) 若杉雅浩,奥寺敬,井川晃彦,小倉真治,内藤万砂文,広瀬保夫,和籐幸弘:平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨災害の調査報告.第 10 回日本集団災害医学会総会,2005,3,吹田.
- 44) 若杉雅浩,小倉憲一,井川晃彦,奥寺敬:救急救命士による気管挿管の質の保障としての救急隊を対象とした OSCE の

導入.第8回日本臨床救急医学会,2005,4,東京.

- 45) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺敬:救急医療システムと臓器移植-レシipient搬送の問題点-.第18回日本脳死・脳蘇生学会,2005,6,名古屋.
- 46) 若杉雅浩,井川晃彦,丹下大祐,奥寺敬:医学教育における心肺蘇生法・ICLS コースの位置づけ.第回日本救急医学会総会,2005,10,東京.
- 47) 若杉雅浩,奥寺敬:気管挿管教育の現状と課題.第27回救急コ・メディカルセミナー,2005,11,名古屋.

## その他

- 1) 井川晃彦:国際ガイドラインにもとづいた心肺蘇生法.平成17年度文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業(富山県立高岡高校)「ミニ大学」,2005,7,富山県立高岡高校.
- 2) 奥寺 敬:救急看護と危機管理医学.新潟県立看護大学平成16年度2年次成人看護,2005,2,上越市.
- 3) 奥寺 敬:救急看護と危機管理医学.新潟県立看護大学平成17年度2年次成人看護,2005,5,上越市.
- 4) 奥寺 敬:危機管理医学の考え方.信州大学医学部平成17年度4年次講義,2005,6,松本市.
- 5) 奥寺 敬:AEDを用いた心肺蘇生.平成17年度富山県水泳医・科学シンポジウム,2005,11,上市町.
- 6) 奥寺 敬:イベント医療と救急医療.平成17年度岡山大学医学部4年次救急医学講義,2005,7,岡山市.
- 7) 奥寺 敬:市民のための一次蘇生法とAED.平成17年富山医科薬科大学公開講座「健やかに生きるために」,2005,6,富山市.
- 8) 奥寺 敬:歯科診療における健康危機管理.第33回中部歯科麻酔研究会・第22回日本歯科麻酔中部地方会,2005,6,富山市.
- 9) 奥寺 敬:命の危機管理を考える-心肺蘇生法の実際.第22回日本心電学会学術集会・市民公開講座,2005,10,富山市.

## 研修会等公演

- 1) 井川晃彦:心肺脳蘇生講習会,2005,6,八尾スポーツアリーナ.
- 2) 井川晃彦:心臓突然死とAED.杉谷会世話人会,2005,11,名鉄トヤマホテル.
- 3) 奥寺 敬:中越地震に見る災害時の難病対策について.平成16年度富山難病対策推進協議会,2005,2,富山市.
- 4) 奥寺 敬:日本海地震による富山湾大津波シミュレーション.平成16年度富山県健康危機管理対策特別研修会,2005,2,富山市.
- 5) 奥寺 敬:防災から減災へ-住民力を向上させる具体策としての一般市民を対象としたAED講習の解説.平成16年度富山県健康危機管理対策特別研修会,2005,2,富山市.
- 6) 奥寺 敬:災害時に求められる救急医療.富山市医師会生涯教育研修会,2005,2,富山市.
- 7) 奥寺 敬:化学物質による緊急危害対応-もし川に化学物質が流れたらあなたはどうか対処しますか-.国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所特別講演会,2005,3,富山市.
- 8) 奥寺 敬:救急処置におけるBLSとAEDの原理と解説.富山市医師会・ACLS導入研修会,2005,3,富山市.
- 9) 奥寺 敬:災害時の病院の役割.富山市民病院・災害医療セミナー,2005,5,富山市.
- 10) 奥寺 敬:災害看護の概論.新潟県立看護大学教官ミニレクチャー,2005,5,上越市.
- 11) 奥寺 敬:熱中症の臨床像.今夏の天候と熱中症に関する講演会,2005,6,富山市.
- 12) 奥寺 敬:松本サリン事件における医療対応-事件からの教訓と関係機関の連携-.大阪府泉佐野保健所健康危機管理連絡会議,2005,7,泉佐野市.
- 13) 奥寺 敬:集団災害時の対応について.鹿児島救急医学会三部会(第58回医師部会・第34回看護部会・第21回救急隊員部会)合同特別講演,2005,9,鹿児島市.
- 14) 奥寺 敬:災害時の救急医療-21世紀の災害像.災害医療研修会,2005,9,名瀬市.
- 15) 奥寺 敬:災害拠点病院に求められる医療.平成17年度伊那中央病院災害医療研修会,2005,11,伊那市.
- 16) 奥寺 敬:地域中核病院に求められる救急医療と災害医療-医療安全の視点から.第7回氷見市民病院医療安全研修会・特別講演,2005,11,氷見市.
- 17) 奥寺 敬:救急災害医療における危機管理.平成17年度石川県病院協会・救急医療体制強化事業研修会,2005,12,七尾市.
- 18) 若杉雅浩:救急救命士の処置拡大とメディカルコントロール.平成16年富山ブロック救急隊員研修会,2005,2,大山町消防本部.
- 19) 若杉雅浩:救急隊の現場活動と救急病院の役割.富山赤十字病院第5階救急事例検討会,2005,5,富山.